

レインボー学童クラブ便り

きらきら

レインボー学童クラブ

レインボー第2学童クラブ

2023.6.1

見通しを持つこと

雨がしとしとと降る日が増え、街中では色とりどりの紫陽花が咲く季節となりました。早いもので新年度を迎えてから2ヵ月が経ち、子ども達は学童での過ごし方にも慣れてきました。4、5月では「外遊びはいつ行けるの?」「何時からおやつなの?」と毎日のように確認する姿がありましたが、最近では自分たちで時計を見ながら見通しを持つ子が増えつつあります。1日の中で遊びに宿題、習い事と大忙しの子ども達ですが、見通しが立つことによって自分達のやりたいことができるようになり、より充実した1日が送れるようになってきました。これからも引き続き、子ども達の生活習慣が身につけていけるようサポートしていきます。

工作で部屋遊びを豊かに

毎週木曜日と金曜日は工作タイムができる日となっており、子ども達もその日を待ち望みにしています。5月はプラバン、スイーツマグネットを作りました。毎月行うプラバン制作は子どもたちにも定着しつつあり、好きな絵を描いたり、慎重に色を塗ったりとそれぞれがこだわりながら完成を目指します。そして焼きあがったプラバンをキーホルダーにしたりして大事にする様子が見られました。

スイーツマグネット作りでは、今までは大人に作り方を教わる子がほとんどでしたが、先に作った子が後から来た子に「このパーツをとるんだよ」「こうするといいよ。」と教えあう姿があり、とても素敵でした。中には30分以上かけて熱中している子もいました。「すごく集中しているね。」と声をかけると「うん!お母さんにプレゼントするんだ。」と教えてくれ、とてもほっこりしました。6月は外に出られない日も増えることが予想されるため、室内で夢中になれることを見つけ、楽しく過ごせたらと思います。今後の工作についても楽しみにしててくださいね。

友達の輪が広がる中で

学童で生活する上で、子ども達にとって最も大切なことの一つに「友達」と答える人も多いのではないのでしょうか。レインボー学童クラブは様々な学校・学年の子がいるため、普段は関わらない友達を作る場にもなっています。5月に入ってから異学年で遊ぶ姿が増えつつあり、上級生が下級生にゲームのやり方を教えたり、外遊びでは走るスピードを配慮したりする様子が見られました。そんな上級生に憧れの気持ちを抱き、「師匠!」と呼んで毎日のように遊びを共にする子もいます。子ども達は遊びを通じて相手のことを知り、コミュニケーションの取り方を学んでいる時期でもあります。互いに刺激を受けながら、時にはケンカをしたり、時には共に喜んだり、良いことも悩むこともたくさん経験して成長しあっていたらと思います。

ありがとうございました

<5月13日の親子レク>

お忙しい中、親子レクにご参加いただきありがとうございました。何とか天気も持ち、皆様と楽しい時間を過ごすことができましたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も楽しいイベントを計画できたらと思っておりますので、その際はどうぞよろしく願いいたします。

6月の予定

5~8日 (月)~(木)	個人面談(1年生+希望者のみ)
15日 (木)	1日保育(県民の日) ミュージアムパーク 茨城県自然博物館
26日 (月)	お誕生日会

連絡・お願い

・着替えについて

気温が高く汗をかく日が増えてきましたので、衣替えをお願いします。クラブに着替えを置いていないご家庭はご準備をお願いします。

・帽子について

日差しが強くなってきましたので、帽子の持参をお願いします。

~クラブの様子!~

日々伝えきれていないクラブや子ども達の様子を、週に1回程度クラブHPのTOPICSに掲載しています。写真もアップしているので、ぜひご覧ください。



コラム:音読は何のためにあるの?

今回は小学校の宿題の定番である『音読』について話をします。子ども達からは面倒くさいとの声を聞く音読ですが、個人的には毎日取り組んでほしいと思います。なぜなら、国語成績アップにつながるからです。

国語の物語文の学習は、登場人物の気持ちを考えることを目標として学習を進めます。具体的には『文章中から登場人物の気持ちを読み取る』学習です。大事なのは文章中からという視点で、自分が人物の気持ちに入り込んで、気持ちを想像して…ということは求められていません。

つまり、単語や助詞、助動詞、慣用句の意味から、人物の気持ちを読み取る学習となっています。(最近の学習では、読み取りを正確に捉えたうえで、その後の様子を想像するものも多くなっています!)小学生の国語を学習する方法は、高校生が古文や漢文を学習する方法と近いものがあり、語彙力が高まると、国語の成績が高まります。

その語彙力を育てるには、繰り返し練習して覚える必要があるため、毎日の音読は大きな価値があると思います。低学年はゆっくり、正確に音読できると文章の理解が進むので効果的です。時間があればお子さんの音読後に「〇〇ってどんな意味?」と聞いてあげると、成績アップに近づくことができるでしょう。ゆっくり聞いてあげる時間がない方は、家事などをしながらでも大丈夫です。一番大切なことは繰り返し取り組むことです。

中高学年で教科書の音読に飽きたお子さんなら、本屋さんに並んでいる音読教材を活用しても良いですし、興味のある分野の本何でも良いので音読するのも良いと思います。新しい語彙を増やすだけでなく、知識も吸収できる、まさに一石二鳥にもなります。